

平成20年ゴールデンウィークの観光客の状況について集計しました。

平成20年ゴールデンウィークに県内観光地を訪れた観光者数について集計した結果は、次のとおりです。

調査目的： ゴールデンウィーク期間中の観光客の傾向を調査し、今後の観光振興施策や観光事業関係者の事業展開の参考資料とする。

調査方法： 県内主要観光施設利用状況、市町村イベント等の動員数

	350 地点
高速道路、有料道路流入車両台数調査	18 地点
登山状況の調査	5 地点
合計	373 地点

集計期間： 平成20年4月26日(土)～5月6日(火)の11日間

観光客数： 延べ273万人

(前年比 1万1千人、0.4%減少)

(前々年比11万1千人、4.2%増加)

1 概 況

周期的に天候が変わり、なかなか晴れ間が続かなかった。特にゴールデンウィーク初日に雨が降ったため、前半の連休の出足に影響があった。

連続休暇は前半に2日間、後半に4日間となっており、その間に飛び石で1日の休みがある分散型であり、連続休暇が取りにくい曜日配列であった。

昨年は大河ドラマの効果により、風林火山博、風林火山館をはじめ、武田家ゆかりの神社、史跡などを中心に観光客が大幅に増加したが、今年の県全体の観光客数は若干の減少の傾向がみられた。また、その他の要因としては、天候、曜日配列のほかガソリン価格の高騰、物価高などの影響が考えられる。

主要山系の登山者数について、富士山以外では増加傾向がみられた。富士山は積雪が多く、富士山有料道路も4月26日に開通したばかりであったため、昨年と比較し減少となった。

destinationキャンペーンの展開により、ワイナリーや花をテーマにしたイベントがマスコミに多く取り上げられたことや、新たなツアーが造成されたことなどにより、これらの観光施設やイベントに客数の増加傾向が見られた。

観光客数は、「風林火山」ブームによる大幅な増加があった昨年を下回ったものの、昨年との対比では増加となっており、大型観光キャンペーンの効果があったものと考えられる。

2 各圏域別の状況

【峡 中】

- ・ 前年比 100.4%で昨年と同程度の状況であった。
- ・ **小瀬スポーツ公園**で期間中にヴァンフォーレ甲府の試合が2試合あり、大幅に客数が増加した。イベントの集客では、**れんげまつり**で客数が増加した以外は前年と同程度だった。
- ・ 大河ドラマの影響で昨年客数の多かった**武田神社**、**甲斐善光寺**などでは減少傾向がみられた。また、**県立美術館**、**科学館**、**考古学博物館**でも客数が減少した。

【峡 東】

- ・ 前年比100.0%で昨年と同程度の状況であった。
- ・ 昨年大河ドラマの影響で増加した**恵林寺**では客数が減少した。また、圏央道が開通したことの影響により、**雁坂トンネル**の通行量の低下が目立ち、**道の駅「みとみ」**、**「まきおか」**では大幅に減少した。
- ・ 一方、旧石和町温泉客やワイナリーでは客数の増加がみられ、デスティネーションキャンペーンの効果があったと思われる。

【峡 南】

- ・ 前年比 93.7%で昨年に比べて客数が減少した。
- ・ **身延山久遠寺**、**富士川クラフトパーク**、**道の駅「とみざわ」**や**日帰り温泉施設**などで客数の減少傾向があり、イベントにおいても、**南アルプス早川山菜祭り**で客数が減少した。

【峡 北】

- ・ 前年比 83.4%で昨年に比べて客数が大幅に減少した。
- ・ 同地域は昨年、大河ドラマの影響で大幅に客数が増加したが、連休の取りづらい曜日の配列、天候不順、ガソリン価格の高騰などマイナス要因が多かった今年には大幅な減少となった。
- ・ 特に昨年賑わった**風林火山館**で客数の落ち込みが激しかった。また、連休の初日に雨が降ったことで出足が鈍り、屋外の観光施設で客数の減少が目立った。

【富士北麓】

- ・ 前年比106.6%で昨年に比べて客数が増加している。
- ・ 花をテーマにしたイベント「**富士芝桜まつり**」、「**富士桜ミツバツツジまつり**」等が人気で多くの客数を集め、それに伴い、**道の駅「富士吉田」**、「**なるさわ**」でも客数が増加した。
- ・ 一方、**富士急ハイランド**、**北口本宮富士浅間神社**など主だった観光施設では客数が減少した。

【東 部】

- ・ 前年比 102.7%で昨年と比べて客数が若干増加した。
- ・ **多摩源流祭り**では客数が若干減っているものの、ゴルフ場などを中心に増加傾向がみられ、**山梨県立リニア見学センター**、**道の駅「どうし」**などで客数が増加した。首都圏から距離が近く、比較的安価で来られることで客数が伸びたと思われる。

【問い合わせ】 観光企画課 堀江 直通 055 - 223 - 1556 (内線 4108)

圏域別観光客数 (単位:千人・%)

資 料

圏域	平成20年	平成19年	対前年比率	平成18年	平成17年	平成16年
峡中	519	517	100.4	476	472	434
峡東	432	432	100.0	432	420	386
峡南	178	190	93.7	224	194	178
峡北	367	440	83.4	387	327	302
富士北麓	1,120	1,051	106.6	988	985	910
東部	114	111	102.7	112	111	104
計	2,730	2,741	99.6	2,619	2,509	2,314

主な観光施設の入り込み状況 (単位:人、台・%)

	施設名	平成20年(A)	平成19年(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
峡中	甲斐善光寺	2,570	3,106	-536	82.7
	県立美術館	7,164	9,266	-2,102	77.3
	小瀬スポーツ公園	56,442	40,050	16,392	140.9
	愛宕山こどもの国	54,357	54,559	-202	99.6
峡東	恵林寺	9,540	11,753	-2,213	81.2
	県立博物館	6,759	9,652	-2,893	70.0
	旧石和町温泉客	44,000	40,900	3,100	107.6
峡南	身延山久遠寺	39,585	39,760	-175	99.6
	富士川クラフトパーク	34,750	40,550	-5,800	85.7
峡北	風林火山館	6,391	26,952	-20,561	23.7
	道の駅こぶちざわ	45,258	47,946	-2,688	94.4
	尾白の森 名水公園べるが	10,834	11,908	-1,074	91.0
富士北麓	富士急ハイランド	117,000	125,000	-8,000	93.6
	山中湖花の都公園	19,198	17,770	1,428	108.0
	北口本宮富士浅間神社	14,600	16,130	-1,530	90.5
	道の駅 富士吉田	46,820	41,372	5,448	113.2
東部	猿橋	5,200	5,090	110	102.2
	山梨県立リニア見学センター	3,399	2,849	550	119.3
イベント	正の木祭り	80,000	80,000	0	100.0
	中央市玉穂れんげまつり	40,000	38,000	2,000	105.3
	富士芝桜まつり	80,500	-	-	-
	多摩源流まつり	12,000	13,000	-1,000	92.3
有料道路	富士スバルライン (一日当たり)	2,281	2,800	-519	81.5
	雁坂トンネル (一日当たり)	2,952	3,881	-929	76.1
登山	富士山	60	100	-40	60.0
	八ヶ岳	400	300	100	133.3
	南アルプス	1,700	1,500	200	113.3
	秩父山系	30,000	27,000	3,000	111.1
	御坂山系	5,000	4,000	1,000	125.0